

県内経済の動き

概況

〔2022年7月～2022年9月の動き〕

住宅投資や生産は不調なるも回復した乗用車販売や好調な個人消費に期待

鉱工業生産指数（7月）は5カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（8月 細島港）は3カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（8月 全店ベース）は11カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（9月）は13カ月ぶりに前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（8月）は3カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（9月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（8月）は前月比+0.02ポイントの1.46倍で、9月の企業倒産は前月比2件増の2件、負債額は同5億45百万円増の5億45万円となった。

13カ月ぶりに乗用車販売が前年同月比プラスへ転じた。住宅着工数や生産の指標が悪化しているものの、新型コロナの沈静化による経済活動の活性化が期待される。